

やまだ文芸広場

「草むらで」

二輪草こもり咲

風にふりふり音頭とり

恰もおどるフラダンス

小林 りつ子

大方は西洋たんぽぽ

ここ他国の土に

小さく強かに生く

いっちゃん

うぐいすの

初音を聞くや

散歩道

中村 八十

しっかと食べ源内の知恵

土用の日

下坂 アキ子

見上げれば

古歌にも愛でし山桜

散策の道 大空に咲き

佐々木 ウメ

巣立ちするつばめ親子をのき先の

木の枝に見るあくこともなく

内館 洋一

山の緑も色付く春

あずき色の山桜が花咲くの

心待ちにする今日

坂本 フジ

防潮堤上れば海広がりにて

春の香りをのせザザザ

尾形 良子

「桜 新緑に仲間入り」

三陸リアス乗車して故郷駅下車。駅の満開の桜は四方八方から見てもきれいです。雲ひとつない澄んだ空に桜色が映える。どんな名所の桜より有名な名のある桜より故郷のこの駅の桜が一番！最高の好感度を与えてくれる満開の桜。私は平成31年3月「幼子生まれ祝いの晴れ着に見立てたり」と詠み、今年は「故郷に返りし心に安寧の桜咲き揃うぞよ」と詠んだ。そして私は故郷の駅を《さくら駅》とよんでいます。満開の桜もあつという間に葉桜へ。山々は新緑となり、桜も周りに溶け込んで調和を保ち、一層緑を青に生き生きさせる。新緑から秋へ、秋から冬へ。どんな桜の姿を見せてくれるのでしょうか？とても楽しみな桜です。私の故郷のさくら駅の桜。

黒澤 頼江

「散歩」



道ばたにタンポポが家族のようによりそって咲いていた。

はなれても咲くタンポポも仲間に入れて、人間ドラマを見ているようだ。

菊地 サカエ

町長室から

毎年6月は心待ちにしていることがある。東京都で開催される「ふるさと山田同郷の会」である。昨年は「コナウイルスも収まり多くの参加者が訪れ盛大なものとなった。その席で長年会長をお勤めいただき当町の復興にも大変ご貢献いただいた小川会長に感謝状を差し上げた次第である。この日ばかりは年に一度山田の香りで会場がいつぱいになる日である。昨年は八幡大神楽であつたが、今年は境田虎舞の参加が会場を盛り上げてくれるものと思う。震災以降、山田に帰りたくてもご実家をなくされ帰れない方々もたくさんおられると思う。そのような方々のためにも山田のたくさんの話題を皆さんに報告したいと思う。今年度から田の浜出身の村上さんが会長となられた。山田町としても会長に協力し、ふるさと山田を遠く離れご活躍の皆様方のためにもしっかりと応援していきたいと思う。

山田町長 佐藤 信逸